

## 第1回 建築ドローンシンポジウム「建築×ドローン2017」

建築物の維持保全の合理化を図る一つ的手段として、UAV（以下、ドローン）技術の利活用に着目し、建築分野に係るドローンの技術情報の収集、建築物の点検・調査技術、そして建築分野でドローンを安全に活用するためのガイドライン等について検討している。一方で、ドローン産業は未だ黎明期であり、建築分野でのドローンの活用を促進させるためには、建築に携わる関係者がドローン技術の現状と課題を把握できるプラットフォームを作ることが必要であると考え、今回、「建築×ドローン2017」のシンポジウムを企画した。本シンポジウムでは、ドローンにおける国交省の動向、本WGの活動内容、安全飛行と技能、建築物の点検・調査事例、海外のドローン技術等の最新情報を通して、建築分野におけるドローンの活用の可能性を見出すきっかけとなることを期待する。

**主 催** 材料施工委員会 耐久・保全運営委員会

**後援予定** 日本建築仕上学会、ミニサーベイヤーコンソーシアム

**日 時** 2017年5月18日（木）13:30～17:00

**会 場** 建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

### <プログラム>

司会：兼松学（東京理科大学）

1. 主旨説明 宮内博之（建築研究所）
2. ドローンに関わる国交省（建築分野）の動向 眞方山美穂（国土技術政策総合研究所）
3. UAVを活用した建築保全技術開発WGの活動報告 宮内博之（前掲）
4. ドローンを活用したインフラ点検調査事例 石田敦則（三信建材工業）
5. ドローンを活用した建物外壁点検調査事例 大場喜和（ERIソリューション）
6. ドローンを活用した建築外壁タイル仕上げ調査事例  
河辺伸二（名古屋工業大）、渡辺正雄・中島圭二（コンクリート技術支援機構）
7. 構造被害調査へのドローンの活用 楠浩一（東京大学）
8. 海外におけるドローン最新技術動向 石田晃啓（三信建材工業）
9. ドローンの飛行安全と操縦技能について  
酒井学雄（ミニサーベイヤーコンソーシアム/スカイスコープソリューションズ）
10. まとめ 鹿毛忠継（国土技術政策総合研究所）

定 員：150名

参加費：会員 4,000円 後援 5,000円 会員外 6,000円 学生 2,000円

（資料代含む／当日払い）

Web申込み <https://www.ajj.or.jp/index/?se=sho&id=1765> よりお申し込みください。

問合せ：事務局事業グループ 浜田 TEL 03-3456-2051